

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本クロージャー株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒141-0022 東京都品川区東五反田2-18-1
----	-----------------------------	----	--

本票作成	部署名：岡山工場 工務課
------	--------------

主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）
-------	-------	----	------------------------

事業の概要	プラスチックキャップ及び容器製造 岡山工場従業員：180人
-------	-------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県勝田郡勝央町太平台60番1号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	24,032 t CO ₂	22,091 t CO ₂	23,551 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	岡山工場	22,091 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度	～	平成 26 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	11.5 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(個数)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		4.122 t CO ₂ /百万個)	3.648 t CO ₂ /百万個)	4.040 t CO ₂ /百万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

生産設備の更新が計画以上に進み、生産能力が向上したため原単位を下げる事が出来た。その結果、エネルギー消費量削減及び、生産性向上の効果が目標値以上に得られた。温室効果ガス排出削減につながった。

【推進体制】

- ・ IS014001に基づき、工場長をトップとした管理体制のもと、エネルギー管理及び使用の合理化を行っている。
- ・ 省エネ委員会を組織し、年3回の省エネ会議を開催しエネルギー削減方法の検討を行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産金型改善による生産性向上（生産数量増、不良率低減） ・ 圧縮エアーの使用量削減 ・ エアーコンプレッサーの台数制御改善 ・ 冷却水送水ポンプのインバーター化 ・ ブロアーによる空送からコンベアー搬送へ変更 ・ 照明のLED化 ・ 老朽化したパッケージエアコンの更新 ・ 油圧式から電動式射出成形機へ更新（不動時間の消費電力削減） <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不良率の減少による電力削減 ・ 圧縮エアーの使用量削減 ・ ポンプ、ファン、ブロアーのインバーター制御化 ・ ブロアーによる空送からコンベアー搬送へ変更し消費電力を削減 ・ 照明のLED化による消費電力削減 ・ 老朽化設備をエネルギー効率の高い設備へ更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	・ 「おかやま美しい森事業」 ボランティア参加；経時参加8年
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・ 休憩時間の事務所照明消灯する事で使用電力低減（省エネ啓発活動）
- ・ 工場の生産エリア内照明不要箇所消灯、エアコン設定温度28℃とする。
(H23.4月より継続実施中)